

生産

- ティフトン芝の生産日本一であり、全国有数の芝生産地である鳥取県の広大な砂地を利用した圃場にて栽培管理を行っています。
- 生産圃場はITGAP（国際芝草遺伝的保証プログラム）による厳格な栽培地検査を合格した圃場のみで行っています。

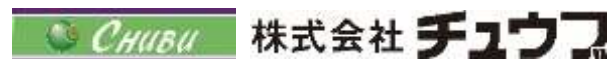


品質保証



- ジョージア作物改良協会が運営する国際芝草遺伝的純度保証プログラム（ITGAP）に遵守した管理・検査の下、無許可の増殖および転売等を禁止し徹底した品種・品質の管理を行っています。
- ITGAPによる栽培地検査を毎年実施し、許可認定を受けた栽培地にのみティフグラントの生産が許可され、品質保証書が出荷毎に発行されます。

正規認定総栽培元



<https://www.danketurf.com/>

鳥取本店 〒689-2304 鳥取県東伯郡琴浦町連東1041-4
TEL: (0858)53-1771 FAX: (0858)53-2193
東京本社 〒203-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-7 ITOビル6F
TEL: 03 (5640) 8122 FAX: 03 (5640) 8100
関西支社 〒665-0822 兵庫県宝塚市安倉中5丁目18-6
TEL: (0797) 81-3671 FAX: (0797) 87-3362



取扱店

世界が認めたティフシリーズ最後の最高品種

TIF GRAND®
CERTIFIED BERMUDA
ティフグラント



概要

ティフグランドは80年の歴史をもつティフシリーズの育種開発において、ジョージア大学で開発された最も新しいティフシリーズの登録新品種です。27,000個体の中から、23年間にわたり選抜育種された最高品質の耐陰性に優れた、種子をつけない三倍体ハイブリッドのバミュエーダグラスです。

※1959年に発表されたティフウェイ(ティフトン419)を開発したのもジョージア大学です。



特性

項目	品 種 名	
	ティフグランド	ティフウェイ (ティフトン419)
耐陰性	60%~70%の遮光条件下でも生育良好	6時間以上/日の日照量が必要
ターフ密度	高い	通常密度
施肥量	軽減可能	施肥必要
草丈	半矮性で濃緑色	草丈高くなり、淡緑色
耐害虫	ケラへの忌避効果高い	ケラの忌避効果なし
水要求度	ティフウェイよりも乾燥に強い	水要求度が高い
回復力	横への生育早く回復力高い	日本芝よりも高い

実績

海外ではFIFAワールドカップ会場をはじめ、多くの事例があります。
また2014年FIFAワールドカップのブラジル大会ではベストピッチ賞を受賞。



ベイラ・リオスタジアム
2014年FIFAワールドカップ
ブラジル大会会場



アレナ・ダ・パイシャータ
2014年FIFAワールドカップ
ブラジル大会会場



ロバートFケネディメモリアルスタジアム
(アメリカ・ワシントンDC)
D.Cユナイテッド本拠地



アレナ・パンタナール
2014年FIFAワールドカップ
ブラジル大会会場

開発

1959年のティフウェイ(ティフトン419)の発表をはじめ、あらゆるハイブリッドバミュエーダグラスを開発発表し続けてきたジョージア大学が1990年代から、27,000個体の中から20年以上にわたり選抜育種した結果、「ティフグランド」を開発しました。



左:ティフグランド 右:ティフウェイ



ジョージア大学
エンブレム